

# 遠賀

No.154 2019. 6.10

発行／福岡県おんがちょう遠賀町議会

## 議会だより



議長・副議長あいさつ・・・2

5月臨時会・・・3

3月定例会

令和元年度予算可決

こんな質疑がありました・・・6

処理報告

あの指摘はどうなった？・・・8

議会ニュース・・・11

第二常任委員会調査・・・12

こどもまつりで、はしご車体験  
4月28日

遠賀総合運動公園で行われた、おんがこどもまつりは、たくさんの人でにぎわい、はしご車の試乗体験コーナーにもたくさんの子どもが並んでいました。期待と不安の表情を見せた子どもたちを乗せると、はしごは大空に上がっていきました。



5月

臨時会

5月8日開催

### 人事案件

監査委員

(全員一致同意)

任期満了のため選任するもの。

中野 嘉徳

織田 隆徳

議員からの選出

遠賀川駅南開発事業特別委員会の設置

(全員一致可決)

駅南開発事業の手法や進捗状況の調査・研究を行うため、全議員で構成する「遠賀川駅南開発事業特別委員会」を設置するもの。

二村 誠司

議案は、人事案件など7件が上程され、慎重審議を行いました。

芳村 正博(木守)  
村田 一二(浅木)

議案は、人事案件など7件が上程され、慎重審議を行いました。

議長選挙

仲野 新三郎

副議長選挙

織田 隆徳

遠賀・中間地域広域行政事務組合議会

織田 隆徳

加藤陽一郎

濱田 竜一

### 組合議会議員の選挙

介護保険広域連合議会

織田 隆徳

中間市外二ヶ町山田川水利組合議会

### 議会提出の議案

基地周辺対策特別委員会の設置

(全員一致可決)

塩害による町内の農作物等の被害状況調査を行うため、全議員で構成する「基地周辺対策特別委員会」を設置するもの。

【趣旨説明】

駅南地区のまちづくりは、第5次遠賀町総合計画後期基本計画の重点戦略にも掲げられており、J R鹿児島本線沿いにある駅直近の未利用地開発を如何に進めていくのかが、今後の本町のまちづくりの大きな鍵になると

言える。  
また、土地区画整理事業は、事業費の算出計画が出されたところであり、これから事業が本格的に進められることになる。  
土地区画整理組合設立を目指して取り組む、本町における一大プロジェクトであり、今後、組合設立に向けた準備等、多くの手続きを踏みながら創意工夫を重ね、事業を進める必要がある。  
こうしたことから、事業の手法を含め、進捗状況など十分に把握し、議会の責任を果たすことを念頭に、継続かつ慎重な議論を行う必要があることから、遠賀川駅前開発事業を調査・研究するため特別委員会の設置を求めるものである。

### 各種委員の選任

#### 第一常任委員会 (6人)

総務課、行政経営課、税務課、都市計画課、駅周辺都市整備推進室、建設課、議会事務局、会計課の所管に関する事項。

委員長	仲摩 靖浩	
副委員長	中野 嘉徳	
委員	萩本 悦子	二村 誠司
	田代 順二	織田 隆徳

#### 第二常任委員会 (7人)

まちづくり課、住民課、福祉課、健康こども課、教育委員会の所管に関する事項。

委員長	濱田 竜一	
副委員長	加藤陽一郎	
委員	舩添 博孝	萩尾 修身
	浜岡 峯達	平見 光司
	仲野新三郎	

#### 議会広報常任委員会 (6人)

議会広報紙の編集と発行、議会ホームページ、議会放映に関する事項。

委員長	田代 順二	
副委員長	仲摩 靖浩	
委員	舩添 博孝	萩尾 修身
	二村 誠司	平見 光司

#### 議会運営委員会 (6人)

議会の運営・会議規則、委員会条例、議長の諮問に関する事項。

委員長	平見 光司	
副委員長	濱田 竜一	
委員	萩本 悦子	加藤陽一郎
	仲摩 靖浩	織田 隆徳



今後の開発が期待される駅南の未利用地

# 新 議会 公議員の紹介

4月21日に執行された、遠賀町議会議員一般選挙で当選した議員を紹介します。

議席番号順に氏名、当選回数、生年月日、住所、職業等、所属委員会を掲載しています。

当日有権者数	15,952名
投票総数	8,108名
投票率	50.83%
有効投票数	7,986票



● 2番議員 **中野 嘉徳** (当選3回)  
 ● 生年月日 昭和22年8月18日 (71歳)  
 ● 住所 老良64番地  
 ● 職業等 無職  
 ● 所属委員会 第一常任委員会



● 1番議員 **萩本 悦子** (当選4回)  
 ● 生年月日 昭和30年3月21日 (64歳)  
 ● 住所 広渡一丁目11番1号  
 ● 職業等 無職  
 ● 所属委員会 第一常任委員会、議会運営委員会



● 5番議員 **二村 誠司** (当選1回)  
 ● 生年月日 昭和55年4月8日 (39歳)  
 ● 住所 鬼津1904番地  
 ● 職業等 農業  
 ● 所属委員会 第一常任委員会、議会広報常任委員会



● 4番議員 **萩尾 修身** (当選3回)  
 ● 生年月日 昭和26年2月20日 (68歳)  
 ● 住所 遠賀川一丁目5番6号  
 ● 職業等 自営業  
 ● 所属委員会 第二常任委員会、議会広報常任委員会



● 3番議員 **舛添 博孝** (当選1回)  
 ● 生年月日 昭和36年3月14日 (58歳)  
 ● 住所 若松2370番地  
 ● 職業等 農業  
 ● 所属委員会 第二常任委員会、議会広報常任委員会



● 6 番議員 加藤 陽一郎 (当選3回)  
 ● 生年月日 昭和26年4月12日 (68歳)  
 ● 住 所 今古賀295番地  
 ● 職業等 農業  
 ● 所属委員会 第二常任委員会、議会運営委員  
 員会



● 7 番議員 浜岡 峯達 (当選6回)  
 ● 生年月日 昭和15年1月13日 (79歳)  
 ● 住 所 遠賀川三丁目7番23号  
 ● 職業等 無職  
 ● 所属委員会 第二常任委員会



● 8 番議員 田代 順一 (当選2回)  
 ● 生年月日 昭和42年4月26日 (52歳)  
 ● 住 所 別府3212番地  
 ● 職業等 政党役員  
 ● 所属委員会 第一常任委員会、議会広報常  
 任委員会



● 9 番議員 仲摩 靖浩 (当選2回)  
 ● 生年月日 昭和45年1月17日 (49歳)  
 ● 住 所 島門16番5号  
 ● 職業等 無職  
 ● 所属委員会 第一常任委員会、議会広報常  
 任委員会、議会運営委員会



● 10 番議員 濱田 竜一 (当選2回)  
 ● 生年月日 昭和53年3月29日 (41歳)  
 ● 住 所 松の本四丁目3番10号  
 ● 職業等 自営業  
 ● 所属委員会 第二常任委員会、議会運営委  
 員会



● 11 番議員 平見 光司 (当選4回)  
 ● 生年月日 昭和23年7月18日 (70歳)  
 ● 住 所 広渡一丁目22番7号  
 ● 職業等 自営業  
 ● 所属委員会 第二常任委員会、議会広報常  
 任委員会、議会運営委員会



● 12 番議員 織田 隆徳 (当選3回)  
 ● 生年月日 昭和25年11月23日 (68歳)  
 ● 住 所 広渡2042番地  
 ● 職業等 無職  
 ● 所属委員会 第一常任委員会、議会運営委  
 員会



● 13 番議員 仲野 新三郎 (当選4回)  
 ● 生年月日 昭和47年7月25日 (46歳)  
 ● 住 所 遠賀川二丁目6番14号  
 ● 職業等 自営業  
 ● 所属委員会 第二常任委員会

の19日間開催されました。

議案は、条例制定・改正、平成30年度補正予算、令和元年度予算など30件が上程され、慎重審議を行いました。

# 令和元年度予算可決 こんな質疑がありました

(一般会計予算、後期高齢者医療特別会計予算 賛成多数可決)  
(その他すべて 全員一致可決)

令和元年度一般会計予算は、議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、審査を行いました。

## 町長施政方針 教育施策要綱 質疑

**Q** 災害時には、特に支援が必要な人を受け入れる福祉避難所も必要となってくる。本町では福祉避難所の準備は進んでいるのか。

**A** これまで災害時に福祉避難所を開設したことは少ないが、前回避難所を開設した際には、若干医療的ケアが必要な方も見受けられた。

現在、ふれあいの里と四方の里を福祉避難所として登録しており、遠賀園とも話ができています。町の北部地域に福祉避難所がないので、今後、福祉施設や介護施設等と協議していきたい。

(注) 災害発生時に高齢者・障害者・妊産婦など特別な配慮を必要とする人(要配慮者)を受け入れる避難所。



福祉避難所に登録されるふれあいの里

**Q** 町内にコミュニティバスが通っていない空白地区があるが、空白地区にもコミュニティバスを通すべきではないか。

**A** コミュニティバスが通っていない飛び地については、デマンド交通やタクシー券の一部補助など、交通不便地域対策への制度について令和2年度の導入を目指して検討をしている。

(注) 決まった経路を走る路線



大切な移動手段であるコミュニティバス

バスと、必要な時に呼ぶタクシーのメリットを合わせもつ輸送サービス。

**Q** 子育て世代包括支援センターについて、妊娠から子育て全般にかかわるのであれば、一人の相談者に対して同じ職員が対応するべきであるが、同じ職員が対応できる体制はあるのか。

**A** 可能であれば専任の職員が対応できればよいが、人的な問題もあるのので、対応を記録に残し情報を共有してやっていく。

**Q** 学童保育のNPO法人による管理運営について、どの程度進んでいるのか。

**A** 令和元年6月に事業計画、予算、定款の作成、7月に設立総会、8月に設立認証の申請を行う。その後、12月に県の審査を受け、1月に設立の登記、2月に法人設立の届出を行い完了という流れだ。

### 一般会計・公営企業会計・特別会計の前年度との予算比較

(万円未満四捨五入)

会計名	令和元年度 (当初予算)	平成30年度 (当初予算)	増減率
一般会計	72億2930万円	70億3683万円	2.7%
公営企業会計(下水道事業会計)	10億5568万円	0円	-
特別会計			
国民健康保険事業	22億463万円	22億9008万円	▲3.7%
住宅新築資金等貸付事業	916万円	905万円	1.2%
遠賀霊園事業	1億3490万円	5913万円	128.1%
地域下水道事業	200万円	6817万円	▲97.1%
農業集落排水事業	0円	9092万円	-
公共下水道事業	0円	6億6140万円	-
土地取得	28万円	241万円	▲88.4%
後期高齢者医療	3億5138万円	3億4448万円	2.0%

**Q** 認知症高齢者の見守り対応は具体的にはどうするのか。

**A** 事前にSOSネットワークシステムへ登録しておくことで、行方不明者の迅速な捜索につながる。また、民生委員への事業の周知や家族等からの相談時の案内を行っている。

**Q** 赤しそドリンクの民間移譲について、どういう団体と協議しているのか。

**A** J A北九州青年部と、もう1人興味を持っておられる方と協議を始めている。



民間移譲が協議されている赤しそドリンク

**Q** 民間によるまちづくり会社設立の支援の具体的な内容は。

**A** 駅周辺を中心としたエリアにおいて、駅前商店連盟と連携した上でより住民に親しみやすく、賑わいの創出を図るために、気軽に寄つていただくコミュニケーションの拠点として、民間活力によるまちづくり会社の設立に向けて調整が進んでいる。

町としては側面から設立の支援を行う予定だ。

**Q** 武道場整備事業は、南中学校の武道場を活用する方向で進めているが、なぜ第2体育館を解体した跡地に建設するように方向転換したのか。

**A** 遠賀中学校体育館の床が抜けるなど、激しい痛みが確認されたため、一昨年、中学校の武道場も兼ねて、第2体育館跡地に新武道場を建設するよう方向転換した。

## 一般会計予算 審議

**Q** 職員の防災士の資格取得費が計上されているが、資格を取得した職員をどのように活用するのか。

**A** 現在、防災士は地域での活躍がクローズアップされているので、職員も積極的に資格を取得し、町内の防災士との意見交換に取り組み、地区でも地域活動の促進につなげていきたい。



防災士の活用が期待される

**Q** ふるさと納税の返礼品について、新しい返礼品を導入する考えは。

**A** 平成29年度に町内の事業者を回り、協力依頼を行った。その中で新たな取り組みをしていただいた事業者が3件ほど追加となった。

**Q** 期日前投票所については、駅前センターや商業施設内に設置する考えはないか。

**A** 期日前投票所を拡充するためには専用回線をはじめとするシステムなどの経費が必要だ。また、投票立会人や投票管理者、職員などの経費が必要となってくる。

現時点では、引き続き慎重に研究したいと考えている。



役場横にある期日前投票所

**Q** 今年から始まる風しん予防事業の詳細は。

**A** ①予防接種履歴のない39歳から56歳までの男性に対して抗体検査を行い、抗体値の低い方には予防接種を行う。この事業は、令和元年度から令和3年度の3年間を予定している。なおこの抗体検査および予防接種とも自己負担はない。

**Q** 保育園・幼稚園・施設の職員には任意接種分の助成を行う。この事業は令和元年度から令和2年度までの2年間を予定している。

③妊娠希望女性とその同居者には任意接種分の助成を行う。自己負担は3000円で、令和元年度から令和2年度までの2年間を予定している。

現在、ちよこつとボランティアには、40数名の方が登録されている。

7日間を上限に1日2万円を助成するもの。初年度は、1人分の14万円を予定している。

**Q** 防災無線を利用しての17時の音楽は、いきなり鳴るので驚く。町民にも不評だ。徐々に鳴らすことはできないのか。

**A** システム上、現状では改善は難しい状態であるが、再度、システムの部分でできることを模索したい。

**Q** 生活支援体制整備事業における、ちよこつとボランティア事業の充実が必要だ。どのように考えるか。

**A** 現在は、ごみ出しだけのボランティアだが、今後は草刈や剪定などにも広がっていくのかなと考えている。

# 処理報告 あの指摘は どうなった？

平成29年度の決算特別委員会で行った指摘事項の処理内容は、次のように報告されました。

**指摘** 災害時に対応する職員には、食料を確保することを検討されたい。

**回答** 過去には、災害対応職員の食料については、公費の食糧費で対応した時代もあったが、職務命令による手当も支給されていることから、個人負担としている。災害対策本部、災害現場班等の現在の対応状況は、カップ麺等はある程度、各課に常備しており、その他の食料は、コンビニ等であらためて調達している状況

だ。常備ストック食料品の充実、各課の工夫と判断に委ねる。

現在策定中の業務継続計画の中で検討しているが、大規模災害等に対応が長期化する場合の職員の食料の確保は、町備蓄食料等の提供を原則とする。



充実が期待される備蓄品

**指摘** 介護予防型サロンの口腔・栄養教室は、介護予防に効果的とされているが、回数が減少している。増やすように検討されたい。

**回答** 介護予防サロンは、平成19年度から社会福祉協議会の福祉ネットワーク推進委員の活動のもと、地域高齢者の介護予防や地域交流の機会を提供で

きるよう、社会福祉協議会職員が講師と共に各地区公民館に赴き、実施をしてきたが、指摘のように回数も減っている。これまで課題となっていた介護予防型サロンへの参加者固定化問題を解消するため、令和元年度からは、各地区の実情にあつたサロン活動が地区の裁量で自由に行えるよう、見直しを行うこととなっており、口腔・栄養教室も介護予防にとっても重要だが、まず多くの方々に参加してもらうために、各地区が必要とする教室が多く開催されることが見込まれる。

また、これまで各地区の教室終了後は、社会福祉協議会職員は会場から引き揚げていたが、今年度からは、その後の茶話会や食事会等々にまで職員も参加し、各地区の課題等を拾い上げながら、幅広く生活支援の体制整備に向けた取り組みを行

**指摘** やまびこ保育園駐車場には、毎年借地料を補助しているが、買収に向けて努力されたい。

**回答** やまびこ保育園と中央幼稚園が共同で使用している駐車場は、私有地であり、園が保護者の送迎用駐車場として借入し、借地料を支払っている。町は、施設管理補助の一部として、この借地料の2分の1を補助している。以前から、園へは所有者との買収に向けての交渉を何度もお願いしているところだが、現状のままでは、借地料の補助金が継続的に必要となるので、今後も用地の買収について、お願いするとともに協力していく。

**指摘** 遠賀町起業支援施設PIPIIT利用者の起業は、大きな事業効果があるため、事業実績報告書に記載されたい。

**回答** P I P I T利用者の起業は、大きな事業効果であるので、次年度以降の事業実績報告書より記載する。

**指摘** 町主体の農産物ブランド推進事業は、民間移譲を進めるよう努力されたい。

**回答** 農産物ブランド化事業については「夢れんげ」「菜種油」「赤しそドリンク」の3種で取り組みをすすめている。夢れんげは、学校給食や子育て支援事業における数量確保や生産農家と卸小売業者との調整などが必要のため、今後も町主体で取り組む予定だ。

菜種油は、平成29年度より遠賀町青年部活性協議会へ取り組みを移譲している。

赤しそドリンクは、赤しそ生産団体との協議も踏まえ、民間移譲に向けて検討している。

**指摘** 国民健康保険事業の優良健康家庭表彰事業は、対象基準を緩和するよう検討されたい。

**指摘** コミュニティバスの修繕費は金額が多いため、当初予算に組み込まれたい。

**回答** 令和元年度当初予算より、過去の実績を考慮した見込み額により予算計上する。

**指摘** 健康優良家庭表彰事業は、健康管理を行い、健康保持に努めていただくことを目的に、表彰基準として、1年間に国保世帯の被保険者全員の病院受診がないこと、特定健診を受診していること、



ブランド化商品



するとされました。

今後も「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」の趣旨を十分に踏まえるとともに、学童保育では、年齢や発達の状況が異なる子どもを同時に、かつ継続的に育成を行う必要があることや、安全面での管理が必要であること等から、専門職である学童保育支援員の適正な配置が必要です。

よって、本町議会は、国会及び政府に対し、学童保育において、学童保育支援員が適正に配置され、省令としての「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」策定時の趣旨を踏まえた全国的な一定水準の質を確保する取り組みを進めるよう強く求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成30年度

一般会計補正予算

550万円増額  
(万円未満四捨五入)

(賛成多数可決)

第5回目の補正予算は、550万円を増額し、予算規模は72億5124万円になりました。

平成30年度 一般会計・特別会計 補正予算  
(万円未満四捨五入)

会計名		予算総額	補正額
一般会計		72億5124万円	550万円
特別会計	国民健康保険事業	23億5825万円	▲100万円
	住宅新築資金等貸付事業	907万円	2万円
	遠賀霊園事業	5783万円	▲130万円
	学校給食事業	2万円	2万円
	地域下水道事業	5091万円	▲1725万円
	農業集落排水事業	9181万円	89万円
	公共下水道事業	6億4962万円	▲1262万円
	土地取得	530万円	289万円
	後期高齢者医療	3億4530万円	82万円

賛否が分かれた議案 (○:賛成 ▲:反対 欠:欠席)

会議名	議案名	議席番号												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
3月定例会	遠賀町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	欠	○	○	(議
	平成30年度遠賀町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	欠	○	○	長)
	令和元年度遠賀町一般会計予算	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○
	令和元年度遠賀町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○

※ 全員一致の議案は除いています。

1月臨時会  
1月23日開催

契約

(万円未満四捨五入)

老良・上別府線整備工事  
(その3) 請負契約の変更  
(全員一致可決)

変更後  
1億3833万円

老良・上別府線整備工事(その3)の請負契約締結後に、地盤改良工事の減工により、工事請負契約を変更するもの。

既設の電気配線及び給水管を流用したため、請負契約の金額を減額するもの。

条例改正

一般職職員の給与に関する条例の一部改正  
(全員一致可決)

主な変更点は、地盤改良工事における改良杭施工本数減に伴う減額によるもの。

平成30年4月、人事院勧告に基づいて国家公務員の給与の改正が行われたため、国の改正に準じて、本町の職員の給与を改正するもの。

【改正の主なもの】

若年層に重点を置いて、行政職給料表を平均0.2%、勤勉手当の支給月数を0.05月分引き上げるもの。

専決処分の報告

(万円未満四捨五入)

島門小学校空調設備設置  
工事請負契約の変更

変更前  
1億6113万円  
変更後  
1億4108万円

### 遠賀町議会議員研修会

平成31年2月12日、本町役場内の庁議室において、日本水工設計株式会社（公営企業会計移行業務委託受注コンサルタント）を講師に、公営企業会計研修会が開催されました。研修会は、令和元年度から本町下水道事業に地方公営企業法の財務規定などを適用するに伴い開催されたもので、地方公営企業法の概要、公営企業会計の基礎、予算における基本事項、決算における基本事項などを、下水道事業会計の予算書サンプルを題材に実施計画やキャッシュフロー計算書、貸借対照表や予算事項別明

細書など、具体的な内容の講義を受けました。

地方公営企業法は、地方公共団体の経営する企業の組織や財務などの措置を定めたもので、下水道事業においては、その適用は義務化されていますが、総務省では下水道事業の経営健全化に向けた取り組みの一つとして、下水道事業への法適用を積極的に推進する方針を打ち出し、公営企業会計の適用拡大に向けたロードマップとして、令和2年4月までに人口3万人以上の自治体の下水道事業と簡易下水道事業を公営企業会計へ移行することを明示しています。県内では北九州市、福岡市など14市9町が法適用を行っています。

本町においては、下水道事業の組織規模が小さく下水道事業も持っていないことから、近隣類似団体同様、組織規程などは従前どおりとする「財務

適用」により法を適用する方針としている。

平成30年の12月議会において遠賀町下水道事業の設置等に関する条例の制定を行い、町民の公衆衛生の向上および都市の健全な発達に寄与し、公共水域の水質保全に資するため、下水道事業（公共下水道事業および農業排水事業）を設置しました。町は、統一的な基準による財務書類などを作成し、前事業年度の決算状況や事業年度の予算の概要および事業の経営方針を、それぞれ明らかにしなければなりません。



わかりやすく説明する講師



## 委員会レポート

（基地周辺対策特別委員会）

防衛省へ芦屋基地防風保安林等の松枯れ対策を要望

平成31年2月13日・14日、防衛省整備計画局へ「航空自衛隊芦屋基地防風保安林等の松枯れ対策に関する要望」を行ってきました。

芦屋基地は、昭和14年に陸軍航空芦屋基地として三里松原の防風保安林を切り開き設置され、今日においても防風保安林は、響灘から吹きつける強風や潮風、海砂の飛散を防ぎ、農作物や住宅など人々の暮らしを守る重要な役割を果たしています。芦屋基地を含む筑前海岸地域は、平成23年ごろより、松くい虫による松枯れ被害が急激に増加し、一部では壊滅的な状況となっています。

な対策を講じていく」との回答でした。

### 芦屋基地内の松植樹

平成31年3月2日、本年も芦屋基地内の松植樹に参加しました。

周辺農地を塩害から守る大切な松ですが、ここ数年、松枯れが深刻な問題となっています。ヘリコプターでの薬剤散布、薬剤の樹幹注入、そして今年も行われている、後継育林作業が主な対策となっています。



防衛省へ要望を手渡しました

これに対し、防衛省整備計画局は、「現在、芦屋基地内の松枯れ対策については、福岡森林管理署の助言により薬剤散布・樹幹注入を積極的に行っているが、今後も効果的



育て！スーパー黒松

本年も周辺地域の方々、1500本の松枯れに強いスーパー黒松を植樹しました。周辺農地を塩害から守るため、立派に育つことを願います。

## 第二常任委員会調査

平成31年3月20日、第二常任委員会では、ふれあいの里浴場の黒カビ発生に伴う、天井、その他の工事の完了確認調査を行いました。

ふれあいの里の浴場は、平成27年8月に天井板の一部が破損落下したために、県の森林整備加速化・森林再生事業の補助金を受け、全面張替の改修

工事を行いました。平成30年に天井板の浮きが見られ、調査したところ、天井に黒カビが発生している状況が確認されたため、天井全面の改修工



工事の完了確認調査

を行いました。

改修工事ではカビが発生しない材質での修繕の検討を行いました。県の森林整備加速化・森林再生事業の補助金を受けているため、同じ材質の木材を使用しなければならず、カビ発生の対策として、木材防カビのコーティング、湿気を防ぐための換気工事を行いました。

現地での作業工程の手順説明では、天井板下材からの浮きをジャッキで圧着し、天井板を再度ビス止めし、黒カビ除去、防カビ処理工事、塗装仕上げ（中塗り、上塗り）を行い、吸排気用換気扇の増設、自然換気用排煙設備改修移設工事などが行なわれたとのことでした。

今後も多くの皆様が快適に利用できるように、同じような状況が起きないように注視していきたいと思えます。

## Before



平成30年9月28日に調査した時の天井

## After



カビが落ちてきれいになった天井

## 萩本議員が議場で功労表彰されました

○萩本悦子議員が遠賀町功労表彰を受章しました。平成31年3月定例会初日の3月1日に、遠賀町功労表彰の伝達が行われました。

今回は、町議会議員として3期12年務め、多年地方自治の発展伸張に寄与した功績により、萩本悦子議員が受章されました。



受章された萩本悦子議員

## よろしくおねがいます！ 議会広報常任委員会

●委員長 田代 順二  
●委員 二村 誠司  
住民の皆さんに関心を持っていただけわかるわかりやすい紙面作りを委員みんなで行っていきます。

●副委員長 仲摩 靖浩  
●委員 萩尾 修身  
4年間の経験を踏まえて、各委員と協力しながらわかりやすい広報紙作りに取り組みます。

●委員 平見 光司  
●委員 舛添 博孝  
町民の皆さんに、読んで分かりやすく、親しみのある紙面づくりに努めます。

●委員 舛添 博孝  
●委員 仲野 新三郎  
町民の皆さんに読みやすく、理解しやすい議会だよりの、作成に努めます。



写真左から  
萩尾委員、二村委員、仲摩副委員長、  
田代委員長、平見委員、舛添委員

●発行責任者 議長 仲野 新三郎